

新規・継続等	新規	分野	荒廃山地の復旧等の治山		事業番号	4	事業名	山地治山(林地荒廃防止)					
市町村名	上田市		ふりがな 箇所名	おもて 表			事業年度 (完了年度は見込み)	H23 年度 ~		H24 年度			
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)		谷止工2個				H22年度末事業進捗率		0 %				
	H23年度以降実施内容		同上				本工事費等ベース		0 %				
	H23年度実施内容		谷止工1個				用地補償費ベース		- %				
	年度		全体事業費		H21年度まで		H22年度		H23年度		H23年度以降残		
	事業費計(千円)		43,600		0		0		21,800		43,600		
財源内訳	国庫支出金		20,000		0		0		10,000		20,000		
	その他												
	県債		21,240		0		0		10,620		21,240		
	一般財源		2,360		0		0		1,180		2,360		
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価				部		政策評価課		
									ランク	評点	ランク	評点	
	必要性 (20)	保全対象人家	10戸以上			1~9戸		0戸		A	5	A	5
		保全対象公共施設	2箇所以上			1箇所		なし			5		5
		保全対象に弱者施設があるか	重要施設			一般施設		なし			0		0
		保全対象(保安林・林業用施設)	「広域基幹林道」又は利用区域500ha以上の林道又は保安林率50%以上			保安林率30%以上50未満又は流域対策上保全すべき森林あり		保安林率30%未満			5		5
	小計										15		15
	重要性 (15)	過去の災害履歴	過去5年に1回以上			災害履歴地		なし		A	5	A	5
		交通遮断による地域経済などへの影響	大			中		小			5		5
		防災計画上の位置づけ	あり			なし					5		5
	小計										15		15
	効率性 (20)	費用対効果(B/C)	B/C2.0以上			B/C1.0以上2.0未満		B/C1.0未満		A	10	A	10
		早期発現度	3年未満			3年以上5年未満		5年以上			7		7
		流域の総合調整	あり			なし					0		0
		小計											17
	緊急性 (25)	最寄の保全対象までの距離	50m未満			50m以上200m未満		200m以上		C	4	C	4
		地形、地質の状況	火山噴出物、花崗岩、第3紀層、破砕帯かつ地すべり地形			火山噴出物、花崗岩、第3紀層、破砕帯		その他			2		2
		平均深床勾配(平均山腹勾配)	10°以上(30°以上)			5°~10°未満(20~30°未満)		5°未満(20°未満)			3		3
		下流の堰堤等の整備状況(他所管含む)	なし			あり(概ね満砂)		あり(ポケットあり)			3		3
		危険地区危険度	Aランク			Bランク		Cランク			0		0
小計										12		12	
計画熟度 (20)	地域からの要望	地域住民活動強い			市町村要望有り		特に要望ない		A	10	A	10	
	事業情報の共有	関係者以外にも周知			関係者中心に周知		特に周知していない			3		3	
	住民参加の状況	住民が直接参加			住民市町村意見を反映		住民意見反映していない			3		3	
	小計											16	
費用対効果(B/C)		10.11			評価の合計				A	75	A	75	
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当該地は昭和11年に保安林に指定され、年度不詳であるが空石積による床固工、山腹工の施工がなされており、昭和46年度において、現在の谷止工が2箇所施工され、地域の保全を確保してきた。しかし、平成22年8月2日の豪雨(110mm/日、42.0mm/h)で、既設上部の溪岸が侵食され、下方の寺院、集落へ土砂が流出。寺院・市道・農地・用水路に被害をもたらした。											
	地域からの要望経緯	平成22年8月、地元自治会を通じ、上田市より対策要望がされている。											
	事業説明等の経緯	平成22年12月、上田市役所へ事業計画概要を説明。事業実施に向け地域関係者への対応を依頼。											
	環境・景観への配慮項目	特になし。											
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。											
特記事項	特になし。												
地域の合意形成		全員賛成		概ね賛成		過半数賛成		動向不明		その他			
部意見	平22年8月豪雨により下方保全対象に土砂が流出した箇所であり、渓流沿いの浸食、崩壊が進んでおり、次期出水時に下方の保全対象に土砂流出、流木被害が発生するおそれがあるため、対策工の実施が必要である。				政策評価課意見		重要性が高く、必要性も認められる。						